

<p>(3) 特に騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。</p> <p>(4) F F式温風暖房機の撤去・再取付、新規設置について F F式温風暖房機の一時的撤去し、再取付、新規設置及び動作確認は、製造者又は製造者認定の代理店等に所属する「石油機器技術管理士」の登録を受けたもの（一財）日本石油燃焼機器保守協会）が行い、記録を整備すること。なお、動作確認は、一時的撤去し、再取付け後の双方で行うこと。新規設置の場合は設置後に行うこと。</p>	<p>標準仕様書によるほか下記による。 (1) 圧縮機駆動機の制御方式 ※回転数制御 ・ オンオフ制御 (2) 冷媒 HFC (R410A、R32又はR407C) (注1) R410Aを採用した場合、冷媒配管は機器の設計圧力を満足するものを使用すること。 (注2) R32を採用した場合、冷媒配管の断熱材被覆銅管は難燃性のものを使用すること。 (3) 埼玉県グリーン調達推進方針に掲げる成績係数を満たす機器とする。</p>	<p>12 擬音装置 ・女子用トイレブースに設置する。(※本工事 ・ 別途工事) ・男子用トイレブースに設置する。(※本工事 ・ 別途工事) ・多目的トイレブースに設置する。(※本工事 ・ 別途工事) 衛生設備器具の適用等の必要などは別途衛生設備器具表による。</p> <p>13 その他</p>	<p>2 洗面器等の排水管 洗面器等に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップする。</p> <p>3 満水試験継手 3階以上にわたる排水立管には、各階毎に次の継手を設ける。 ※掃除口付きソケット ・ 満水試験用掃除口ソケット</p> <p>4 樹の適用 別紙表による。</p>																																																																													
<p>1 設計温湿度</p> <table border="1" data-bbox="296 336 756 420"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">外 気</th> <th colspan="2">一 般 系 統</th> <th colspan="2">屋 内</th> </tr> <tr> <th>温度(Db)</th> <th>湿度(RH)</th> <th>温度(Db)</th> <th>湿度(RH)</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏 期</td> <td>37.1℃</td> <td>47.1%</td> <td>26℃</td> <td>55%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>冬 期</td> <td>0.5℃</td> <td>49.4%</td> <td>22℃</td> <td>55%</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※外気処理用エアコンの室内設定値は、夏期温度50%とする。</p>		外 気		一 般 系 統		屋 内		温度(Db)	湿度(RH)	温度(Db)	湿度(RH)			夏 期	37.1℃	47.1%	26℃	55%			冬 期	0.5℃	49.4%	22℃	55%			<p>1 長方形ダクト ※低圧ダクト（亜鉛鉄板製） 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・ スライドオンフランジ工法 ・ アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・ 高圧1ダクト（亜鉛鉄板製） ・ 高圧2ダクト（亜鉛鉄板製） ・ ステンレス製ダクト（・A区分 ※B区分） ・ 塩ビ製ダクト（・A区分 ※B区分）</p> <p>2 円形ダクト ※スパイラルダクト（※亜鉛鉄板製 ・ ステンレス製） ・ 硬質塩化ビニル管（VU） ・ 耐火二層管又は耐火VVP ・ フレキシブルダクト（・保温付 ・ 保温無） (注1) 使用区分は図示による。</p>	<p>1 配管材料 配管材料は、※下記 ・ 図面指示（図面指示が不足する箇所は下記） による。</p> <table border="1" data-bbox="1543 336 2092 420"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施 工 箇 所</th> <th colspan="2">管 種 別</th> </tr> <tr> <th>上 水 配 管</th> <th>中 水 配 管</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)</td> <td>※SUS ・ SGP-PD ・ ポリブテン管</td> <td>※SUS ・ SGP-PD ・ H I V P ・ ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>ウエット厨房、浴室等の湿潤シンダー内配管</td> <td>※SUS ・ SGP-PD ・ H I V P ・ ポリブテン管</td> <td>※SUS ・ SGP-PD ・ H I V P ・ ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>保温をしない屋外露出部</td> <td>※SUS ・ SGP-PD</td> <td>※H I V P ・ 水道用ステンレス鋼管 ・ 水道配水用ポリエチレン管（P E）</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部（水道直結部分）</td> <td>※SUS ・ SGP-PD ・ H I V P ・ ポリブテン管</td> <td>※H I V P ・ 水道用ポリエチレン管 ・ 水道配水用ポリエチレン管（P E）</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部（一般部分）</td> <td>※SUS ・ SGP-PD ・ H I V P ・ ポリブテン管</td> <td>※H I V P ・ 水道用ポリエチレン管 ・ 水道配水用ポリエチレン管（P E）</td> </tr> <tr> <td>県営住宅 住戸内 便所天井内、P S内（注5）</td> <td>※ポリブテン管（さや管ヘッダー工法） ・ 高密度ポリエチレン管（32A以上）</td> <td>※ポリブテン管（10mm保温付） ※ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>便所天井内 便所空腔壁内又は衛生器具等接続管</td> <td>※ポリブテン管</td> <td>※SUS ・ SGP-PD ・ H I V P ・ ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※SUS ・ SGP-PD ・ H I V P ・ ポリブテン管</td> <td>※SUS ・ SGP-PD ・ H I V P ・ ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)</td> <td>※SUS ・ SGP-PD ・ H I V P ・ ポリブテン管</td> <td>※SUS ・ SGP-PD ・ H I V P ・ ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>湿潤シンダー内配管</td> <td>※SUS ・ SGP-PD ・ H I V P ・ ポリブテン管</td> <td>※SUS ・ SGP-PD</td> </tr> <tr> <td>保温をしない屋外露出部</td> <td>※SUS ・ SGP-PD</td> <td>※H I V P ・ 水道用ポリエチレン管 ・ 水道配水用ポリエチレン管（P E）</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部（一般部分）</td> <td>※SUS ・ SGP-PD ・ H I V P ・ ポリブテン管</td> <td>※SUS ・ SGP-PD ・ H I V P ・ ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>便所天井内、P S内（注5）</td> <td>※高密度ポリエチレン管（32A以上） ・ ポリブテン管（10mm保温付）</td> <td>※ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>便所天井内 便所空腔壁内又は衛生器具等接続管</td> <td>※ポリブテン管</td> <td>※SUS ・ SGP-PD ・ H I V P ・ ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※SUS ・ SGP-PD ・ H I V P ・ ポリブテン管</td> <td>※SUS ・ SGP-PD ・ H I V P ・ ポリブテン管</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. SUSとは、JIS G 3448 またはJWMA G 115 に規定するステンレス鋼管とし、継手は一般部（・圧縮・ブロー） ・ 拡張 便所 ・ 廊下流し廻り露出配管（※拡張）とする。 2. ステンレス管に取付ける弁は、JV8-11による。 3. 飲料水以外の給水管は、系統別に管外部に配管識別テープを巻く。また、接続がないことを確認するため衛生器具の取付完了後、系統毎に着色水を用いた通水試験を行う。 4. 建物導入部において、ポリエチレン管と異種管を接合する場合は、接合部が容易に点検できるように点検用樹を設ける。 5. 口径25Aにて大便器等に接続する場合は、施工状況に応じて高密度ポリエチレン管の使用も可とする。 6. 高密度ポリエチレン管とは、主材料に高密度ポリエチレン樹脂（PE100）を採用し、管と継手を電気融着にて接合するものをいう。</p>	施 工 箇 所	管 種 別		上 水 配 管	中 水 配 管	床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)	※SUS ・ SGP-PD ・ ポリブテン管	※SUS ・ SGP-PD ・ H I V P ・ ポリブテン管	ウエット厨房、浴室等の湿潤シンダー内配管	※SUS ・ SGP-PD ・ H I V P ・ ポリブテン管	※SUS ・ SGP-PD ・ H I V P ・ ポリブテン管	保温をしない屋外露出部	※SUS ・ SGP-PD	※H I V P ・ 水道用ステンレス鋼管 ・ 水道配水用ポリエチレン管（P E）	地中埋設部（水道直結部分）	※SUS ・ SGP-PD ・ H I V P ・ ポリブテン管	※H I V P ・ 水道用ポリエチレン管 ・ 水道配水用ポリエチレン管（P E）	地中埋設部（一般部分）	※SUS ・ SGP-PD ・ H I V P ・ ポリブテン管	※H I V P ・ 水道用ポリエチレン管 ・ 水道配水用ポリエチレン管（P E）	県営住宅 住戸内 便所天井内、P S内（注5）	※ポリブテン管（さや管ヘッダー工法） ・ 高密度ポリエチレン管（32A以上）	※ポリブテン管（10mm保温付） ※ポリブテン管	便所天井内 便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管	※SUS ・ SGP-PD ・ H I V P ・ ポリブテン管	その他の部分	※SUS ・ SGP-PD ・ H I V P ・ ポリブテン管	※SUS ・ SGP-PD ・ H I V P ・ ポリブテン管	床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)	※SUS ・ SGP-PD ・ H I V P ・ ポリブテン管	※SUS ・ SGP-PD ・ H I V P ・ ポリブテン管	湿潤シンダー内配管	※SUS ・ SGP-PD ・ H I V P ・ ポリブテン管	※SUS ・ SGP-PD	保温をしない屋外露出部	※SUS ・ SGP-PD	※H I V P ・ 水道用ポリエチレン管 ・ 水道配水用ポリエチレン管（P E）	地中埋設部（一般部分）	※SUS ・ SGP-PD ・ H I V P ・ ポリブテン管	※SUS ・ SGP-PD ・ H I V P ・ ポリブテン管	便所天井内、P S内（注5）	※高密度ポリエチレン管（32A以上） ・ ポリブテン管（10mm保温付）	※ポリブテン管	便所天井内 便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管	※SUS ・ SGP-PD ・ H I V P ・ ポリブテン管	その他の部分	※SUS ・ SGP-PD ・ H I V P ・ ポリブテン管	※SUS ・ SGP-PD ・ H I V P ・ ポリブテン管	<p>1 配管材料 ・ 露出部 M鋼管 その他 保温付被覆銅管（M鋼管） ○一般配管用ステンレス鋼管 ・ ポリブテン管（さや管ヘッダー工法）</p> <p>2 絶縁フランジ 取付部は下記による。 ※鋼管と鋼管及びこれに類する部分 ※鋼管とステンレス管及びこれに類する部分</p> <p>3 弁 類 (1) 規格はJIS又はJVとし、指定なきものは5K、それ以外は図示による。 (2) ステンレス管に取付ける弁は、JV8-11による。</p> <p>4 ガス瞬間湯沸器 ※屋外設置の潜熱回収型 ・ PS扉内設置の潜熱回収型</p> <p>5 電気給湯器 飲用の場合は、80℃以上で使用可能なものとし、「熱湯注意」の表示をする。</p>
		外 気		一 般 系 統		屋 内																																																																										
	温度(Db)	湿度(RH)	温度(Db)	湿度(RH)																																																																												
夏 期	37.1℃	47.1%	26℃	55%																																																																												
冬 期	0.5℃	49.4%	22℃	55%																																																																												
施 工 箇 所	管 種 別																																																																															
	上 水 配 管	中 水 配 管																																																																														
床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)	※SUS ・ SGP-PD ・ ポリブテン管	※SUS ・ SGP-PD ・ H I V P ・ ポリブテン管																																																																														
ウエット厨房、浴室等の湿潤シンダー内配管	※SUS ・ SGP-PD ・ H I V P ・ ポリブテン管	※SUS ・ SGP-PD ・ H I V P ・ ポリブテン管																																																																														
保温をしない屋外露出部	※SUS ・ SGP-PD	※H I V P ・ 水道用ステンレス鋼管 ・ 水道配水用ポリエチレン管（P E）																																																																														
地中埋設部（水道直結部分）	※SUS ・ SGP-PD ・ H I V P ・ ポリブテン管	※H I V P ・ 水道用ポリエチレン管 ・ 水道配水用ポリエチレン管（P E）																																																																														
地中埋設部（一般部分）	※SUS ・ SGP-PD ・ H I V P ・ ポリブテン管	※H I V P ・ 水道用ポリエチレン管 ・ 水道配水用ポリエチレン管（P E）																																																																														
県営住宅 住戸内 便所天井内、P S内（注5）	※ポリブテン管（さや管ヘッダー工法） ・ 高密度ポリエチレン管（32A以上）	※ポリブテン管（10mm保温付） ※ポリブテン管																																																																														
便所天井内 便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管	※SUS ・ SGP-PD ・ H I V P ・ ポリブテン管																																																																														
その他の部分	※SUS ・ SGP-PD ・ H I V P ・ ポリブテン管	※SUS ・ SGP-PD ・ H I V P ・ ポリブテン管																																																																														
床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)	※SUS ・ SGP-PD ・ H I V P ・ ポリブテン管	※SUS ・ SGP-PD ・ H I V P ・ ポリブテン管																																																																														
湿潤シンダー内配管	※SUS ・ SGP-PD ・ H I V P ・ ポリブテン管	※SUS ・ SGP-PD																																																																														
保温をしない屋外露出部	※SUS ・ SGP-PD	※H I V P ・ 水道用ポリエチレン管 ・ 水道配水用ポリエチレン管（P E）																																																																														
地中埋設部（一般部分）	※SUS ・ SGP-PD ・ H I V P ・ ポリブテン管	※SUS ・ SGP-PD ・ H I V P ・ ポリブテン管																																																																														
便所天井内、P S内（注5）	※高密度ポリエチレン管（32A以上） ・ ポリブテン管（10mm保温付）	※ポリブテン管																																																																														
便所天井内 便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管	※SUS ・ SGP-PD ・ H I V P ・ ポリブテン管																																																																														
その他の部分	※SUS ・ SGP-PD ・ H I V P ・ ポリブテン管	※SUS ・ SGP-PD ・ H I V P ・ ポリブテン管																																																																														
<p>2 総合試運転調整 ※本工事 ・ 別途 風量調整 ※する ・ しない 水量調整 ※する ・ しない 騒音の測定 ※する ・ しない 室内外空気の温湿度の測定 ※する ・ しない 室内空気及びじんあいの測定 ・ する ※しない 初期運転状態の記録 ※する ・ しない 工事対象範囲の既設機器運転状態の記録 ※する ・ しない</p> <p>3 煙 道 (1) 鉄板厚 ※3.2mm ・ 4.5mm) (2) ばい煙温度計 ※設ける ・ 設けない (3) ばいじん量測定口 ※設ける（測定口は80φとする） ・ 設けない</p> <p>4 煙 突 ※別途 ・ 本工事</p> <p>5 長方形ダクト ※低圧ダクト（亜鉛鉄板製） 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・ スライドオンフランジ工法 ・ アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・ 高圧1ダクト（亜鉛鉄板製） ・ 高圧2ダクト（亜鉛鉄板製） ・ ステンレス製ダクト（・A区分 ※B区分） ・ 塩ビ製ダクト（・A区分 ※B区分）</p> <p>6 円形ダクト ※スパイラルダクト（※亜鉛鉄板製 ・ ステンレス製） ・ 硬質塩化ビニル管（VU） ・ 換気用耐火二層管（大臣認定品） ※フレキシブルダクト（・保温付 ・ 保温無） (注1) 使用区分は図示による。</p> <p>7 風量測定口 取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト、空調機出口チャンパーの分岐ダクト</p> <p>8 チャンパー (1) 内貼りを施すチャンパーの表示方法は外法を示す。 (2) ダクト接続形の空気調和機等に取り付けるサブライチャンパー、レタンチャンパー及びダクト系で消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・ 300×300 ・ 300×500 ※400×600 ・ 550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けられるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。</p>	<p>3 風量測定口 (1) 防煙ダンパー 復旧方式（※遠隔 ・ ） 定格入力DC24V、0.7A以下 (2) ピストンダンパー 復旧方式（※遠隔 ・ ）</p> <p>4 チャンパー (1) 内貼りを施すチャンパーの表示方法は外法を示す。 (2) 消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし、点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・ 300×300 ・ 300×500 ※400×600 ・ 550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けられるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。</p> <p>5 ダンパー (1) 防煙ダンパー 復旧方式（※遠隔 ・ ） 定格入力DC24V、0.7A以下 (2) ピストンダンパー 復旧方式（※遠隔 ・ ）</p> <p>6 多温箇所排気ダクト (1) 排気ダクトのうち下記箇所は硬質塩化ビニル管（VU）（防火区画貫通箇所は換気用耐火二層管又は耐火VVP）を使用できる。 ※浴室（シャワー室、脱衣室を含む） (2) 水抜き管は（※厨房、浴室 ※結露水が滞留する部分 ・ ）の排気ダクトには設ける</p> <p>7 保 温 下記のダクトの保温を行う。 ※全熱交換器用の隠ぺい部ダクト 仕様はN ・ (ロ) ・ X Iとする。 保温施工範囲は、給気用O Aダクトは全て、また、排気用E Aダクトは外壁より1mの部分とする。 ※（※厨房 ・ 湯沸室 ・ ）用の隠蔽部ダクト（仕様はh ・ (イ) ・ Kとし範囲は図示による）</p> <p>8 試運転調整 風量調整 ※する ・ しない 水量測定 ※する ・ しない 騒音の測定 ※する ・ しない</p>	<p>2 一体形タンク 一体形タンクについての標準図は一般的な形状及び数値を示すものであって、図面及び特記仕様書に記載された耐震強度、容量、寸法を満たすものであればよい。</p> <p>3 水 栓 ※給湯用水栓を除き大きさの呼び13の水栓は、節水コマとする。 ・ 水抜き栓を使用する場合は、屋外に設ける水栓は耐寒水栓とする。ただし屋内は固定コマ式とする。</p> <p>4 量 水 器 ※親メーター（※貸与品 ・ ） ・ 子メーター（※買い取り ・ ）</p> <p>5 量水器樹 ※水道事業者指定品 ・ 標準図MC形</p> <p>6 弁 類 規格はJIS又はJVとし、ステンレス製10Kとする それ以外は図示による。</p> <p>7 水 栓 柱 ・ 防寒コンクリート水栓柱（1200L） ※不凍給水栓</p> <p>8 建物導入部配管 図示部分について下記のとおり施工する。 ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。 ・ 標準図施工4（・(a) ・ (b) ・ (c)）</p> <p>9 検針方法 水道事業者の集合住宅に関する戸別検針規程に適合するように関連工事業者と調整のうえ施工すること。</p> <p>10 水道利用加入金 水道利用加入金は、別途とする。ただし、水道事業者との調整は本工事を含む。</p> <p>11 本管取出し 水道本管からの給水取出し工事は、本工事範囲とする。また、取出し部における舗装の復旧も含む。</p>	<p>1 配管材料 ・ 都市ガス ガス事業者の供給規定による。埋設配管はPE管を原則とする。 ・ 液化石油ガス 一般配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管 ・ SGP（白） 地中埋設 ※ PE管</p> <p>2 ガス漏れ警報遮断装置 漏洩検知装置は、流量検知式圧力監視型とする。</p> <p>3 液化石油ガスの供給種 ガス設備工事の施工者にガスの供給権は付帯しない。</p> <p>4 厨房機器の固定 原則として、移動を前提とする厨房機器を除き地震時に転倒及び位置ずれを起こさないよう、床又は壁に堅固に取り付ける。</p> <p>5 シンク用水栓 ※レバー式泡沫水栓 ・ 自動水栓</p> <p>6 安全装置の機能の適用 標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。</p>																																																																													
<p>9 吹出口及び吸込口ボックス ※亜鉛鉄板製 ・ グラスウール製</p> <p>10 ダンパー (1) 防煙ダンパー 復旧方式（※遠隔 ・ ） 定格入力DC24V、0.7A以下 (2) ピストンダンパー 復旧方式（※遠隔 ・ ）</p> <p>11 配管材料 (1) 冷温水管 ※配管用炭素鋼管（白） (2) 冷却水管 ※配管用炭素鋼管（黒） (3) プライン管 ※配管用炭素鋼管（黒） (4) 冷媒管 ※断熱材被覆銅管 （保温厚 10mm ガス管 ※20以上 ・ 10以上 液管 ・ 20以上 ※10以上 ただし、液管の呼び径が9.52mm以下の断熱厚さは、8mmとしてもよい。） (5) ドレン管（屋外） ※配管用炭素鋼管（白） ○硬質塩化ビニル管VVP ドレン管（屋内） ※保温機能付空調用ドレン管（JIS A 1301 相当品） ・ 耐火二層管VVP（FDP S-1） ・ 配管用炭素鋼管（白） ○硬質塩化ビニル管VVP （消防協議事項： ただし、保温機能付空調用ドレン管は、水圧1mを超える配管には使用しない。） (6) 油管 ※配管用炭素鋼管（黒） (7) 蒸気管 給気管 ※配管用炭素鋼管（黒） 遠 運 ※圧力配管用炭素鋼管（黒）Sch40 ・ ステンレス鋼管 (8) 膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管 ※配管用炭素鋼管（白）</p> <p>12 弁 類 規格はJIS又はJVとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び共通仕様書による。また、鋼管用伸縮管継手の種類は図示による。</p> <p>13 温度計 取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管（出入口共）、冷却水管（出入口共） ※空調機と熱源機器の冷温水管（出入口共） ※ダクト接続形空調機のサブライチャンパー、レタンダクト、 外気取入ダクト及びレタンチャンパー ※冷温水ヘッダー（往）及び各選り管 ※熱交換器の温水管（出入口）</p> <p>14 圧 力 計 取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管（出入口共）、冷却水管（出入口共） ※空調機と熱源機器の冷温水管（出入口共） ※冷温水ヘッダー（往）及び各選り管 ※熱交換器の温水管（出入口）</p> <p>15 瞬間流量計 瞬間流量計はピトー管方式によるものでストップ付とし、型式及び取付部は下記による。なお、着脱部の指示部は（※1個 ・ 個）付属とする。 ・ 熱源機器の冷温水管、冷却水管の出入口どちらかに（※固定形 ・ 着脱形）を設ける。 ・ 空調機と熱源機器の冷温水管の出入口どちらかに（※固定形 ・ 着脱形）を設ける。</p> <p>16 油面制御装置 ※往又はどちらからの冷温水ヘッダーの各接続管へ（※固定形 ・ 着脱形）を設ける。 制御には（※給油ポンプ制御 ※減油警報 ・ 過油警報 ・ 電磁弁制御 ・ 減油ポンプ制御）の端子を設ける。 なお、フロートスイッチ部と制御装置の配管 ・ 配線は製造者標準仕様とする。</p> <p>17 冷却塔 ※直交流式 ・ 向流型 ※レジオネラ属殺菌剤等の自動薬剤注入装置 ※自動プロー装置 補給水は、水道水とし、補給水接続管部分に清掃用の水栓を分岐して設ける。</p>	<p>1 ダ ク ト ※亜鉛鉄板 ・</p> <p>2 排煙口の形式 ※天井取付（・スリット形 ※スイング形） ・ 壁取付（・スリット形 ・ スイング形）</p> <p>3 排煙口手動開放装置 開放及び復旧方式 ※ワイヤー式 ・ 電気式（遠隔操作 ・ 不要 ・ 要）</p> <p>4 排煙風量測定 建築設備定期検査業務基準書（（一財）日本建築設備・昇降機センター）の排煙風量の検査方法に準ずる。</p> <p>5 中央監視制御装置 ○有り ※無し</p> <p>6 構成・機能 図示による</p> <p>7 電気計装用器材 使用する電線及びケーブルは、原則としてEM電線またはEMケーブルとする。 屋外、屋内露出の電線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。 天井内隠ぺい電線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。</p> <p>8 小便器用排水水栓 JIS B 2026（自動水栓）による電気閉閉式とし、小便器（※一体形・分離形）とする。</p> <p>9 バリアフリー対応 ・ 小便器 ※全部ストール形 ・ 一部ストール形 手すり（・本工事 ※別途工事）</p> <p>10 洗面器 ※自動水栓（・全部 ※一部） ・ レバー式水栓（一部） ・ シャワー ※サーモスタット式 ・ ミキシング式 ※スライドロー ・ フック ※止水機能付節水形シャワーヘッド ※600×800（耐食鏡） ・ 傾斜鏡（・照明無 ・ 照明付）</p> <p>11 衛生器具付風水栓 (1) 器具付風止水栓は ※ドライバー式 ・ ハンドル式 (2) 水抜き栓を使用する場合は、水栓は固定コマ式とする。</p> <p>12 自動水栓類の電源 ※AC100V ・ 乾電池等 ・ 自己発電</p> <p>13 暖房便座 (1) JIS A 4422（温水洗浄便座）とする。 (2) 機能種別 ※温水洗浄 ※脱臭 ・ 温風乾燥 ・ トイレ室内暖房 (3) 温水洗浄加熱方式 ※瞬間式 ・ 貯湯式 (4) 使用流体は、飲料用水道水とする。 (5) リモコン ・ AC100V ・ 乾電池等 ※自己発電</p> <p>14 大便器洗浄弁・洗浄用タンク 器具表又は下記の場合を除き、※節水Ⅰ型 ・ 節水Ⅱ型とする。 ・ 洗浄弁操作方式は、※手動式 ・ 電気閉閉式（※センサー式 ・ タッチスイッチ式） ・ 上層階で使用する大便器洗浄弁は、現地給水管の流動圧を確認し、必要に応じ低圧形とする。</p> <p>15 大便器耐火カバー ※設ける（ピット内は除く） ・ 設けない</p> <p>16 掃除流し ※共栓なしとする。 ○共栓付とする。</p> <p>17 排水器具用JIS継手 ※使用できる ・ 使用できない</p> <p>18 標 記 板 大便器、小便器の洗浄用水に雨水等の利用をしている場合は、その旨をわかりやすく各トイレ毎に表示する。</p> <p>19 水せつけん入れ せつけん供給栓等がない場合は、監督員と協議のうえ洗面器、手洗い器に設ける。</p>	<p>1 配管材料 配管材料は、※下記 ・ 図面指示（図面指示が不足する箇所は下記） による。</p> <table border="1" data-bbox="1543 588 2092 693"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施 工 箇 所</th> <th colspan="2">管 種 別</th> </tr> <tr> <th>雑 排 水 配 管</th> <th>汚 水 配 管</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)</td> <td>※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP</td> <td>※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP</td> </tr> <tr> <td>厨房等の温排水</td> <td>・ SGP（白） ・</td> <td>※耐火二層管VVP（FDP S-1）又は耐火VVP ・ SGP（白）</td> </tr> <tr> <td>耐火性能を要求される箇所</td> <td>※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP</td> <td>※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP</td> <td>※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP</td> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)</td> <td>※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP</td> <td>※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP</td> </tr> <tr> <td>耐火性能を要求される場所</td> <td>※耐火二層管VVP（FDP S-1）又は耐火VVP</td> <td>※耐火二層管VVP（FDP S-1）又は耐火VVP</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP</td> <td>※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部</td> <td>※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP</td> <td>※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP</td> </tr> <tr> <td>共通</td> <td>・ RS-VU又はリサイクルVU ・ VU ・ 卵形管（ゴム輪接合） ・ REP-VU（軽荷重の場合） ・ RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP</td> <td>※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP</td> </tr> <tr> <td>耐火性能を要求される箇所</td> <td>※耐火二層管VVP（FDP S-1）又は耐火VVP ・ SGP（白）</td> <td>※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP</td> <td>※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. リサイクルVVP、リサイクルVUはJIS K6741の規格をもつ塩ビリサイクル管、RF-VP、RS-VU又は、REP-VUは標準仕様書第2編2.1.2.6による。 2. 雨水排水を含む場合は、雨水排水管は雑排水配管の材料種別による。 3. 原則として雑排水配管、汚水配管の管接合部はV45度で行う。</p>	施 工 箇 所	管 種 別		雑 排 水 配 管	汚 水 配 管	床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)	※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP	※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP	厨房等の温排水	・ SGP（白） ・	※耐火二層管VVP（FDP S-1）又は耐火VVP ・ SGP（白）	耐火性能を要求される箇所	※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP	※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP	その他の部分	※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP	※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP	床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)	※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP	※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP	耐火性能を要求される場所	※耐火二層管VVP（FDP S-1）又は耐火VVP	※耐火二層管VVP（FDP S-1）又は耐火VVP	その他の部分	※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP	※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP	地中埋設部	※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP	※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP	共通	・ RS-VU又はリサイクルVU ・ VU ・ 卵形管（ゴム輪接合） ・ REP-VU（軽荷重の場合） ・ RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP	※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP	耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管VVP（FDP S-1）又は耐火VVP ・ SGP（白）	※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP	その他の部分	※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP	※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP	<p>1 配管材料 ・ 都市ガス ガス事業者の供給規定による。埋設配管はPE管を原則とする。 ・ 液化石油ガス 一般配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管 ・ SGP（白） 地中埋設 ※ PE管</p> <p>2 ガス漏れ警報遮断装置 漏洩検知装置は、流量検知式圧力監視型とする。</p> <p>3 液化石油ガスの供給種 ガス設備工事の施工者にガスの供給権は付帯しない。</p> <p>4 厨房機器の固定 原則として、移動を前提とする厨房機器を除き地震時に転倒及び位置ずれを起こさないよう、床又は壁に堅固に取り付ける。</p> <p>5 シンク用水栓 ※レバー式泡沫水栓 ・ 自動水栓</p> <p>6 安全装置の機能の適用 標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。</p>																																							
施 工 箇 所	管 種 別																																																																															
	雑 排 水 配 管	汚 水 配 管																																																																														
床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)	※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP	※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP																																																																														
厨房等の温排水	・ SGP（白） ・	※耐火二層管VVP（FDP S-1）又は耐火VVP ・ SGP（白）																																																																														
耐火性能を要求される箇所	※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP	※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP																																																																														
その他の部分	※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP	※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP																																																																														
床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)	※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP	※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP																																																																														
耐火性能を要求される場所	※耐火二層管VVP（FDP S-1）又は耐火VVP	※耐火二層管VVP（FDP S-1）又は耐火VVP																																																																														
その他の部分	※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP	※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP																																																																														
地中埋設部	※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP	※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP																																																																														
共通	・ RS-VU又はリサイクルVU ・ VU ・ 卵形管（ゴム輪接合） ・ REP-VU（軽荷重の場合） ・ RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP	※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP																																																																														
耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管VVP（FDP S-1）又は耐火VVP ・ SGP（白）	※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP																																																																														
その他の部分	※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP	※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VVP																																																																														
<p>舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書</p> <p>第1条 この特記仕様書は、埼玉県機械設備工事特別共通仕様書に定めるもののほか、アスファルト舗装版切断時に発生する濁水（以下「濁水」という。）の処理に関し必要な事項を定めるものである。</p> <p>第2条 受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。 ・ 種類及び処理量 汚泥（油分を含む汚泥） m3 ・ 中間処理施設 市 地内、（株） ・ 処理方法 ・ 中間処理後、最終処分場へ搬入（処理に焼却又は溶融含まず） ・ 中間処理後、最終処分場又は再資源化（処理に焼却又は溶融を含む） 2 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合には、事前に監督員と協議するものとする。</p> <p>第3条 受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥（油分を含む汚泥）として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。 2 受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。 3 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。 4 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票（以下「 manifests」という。）により管理するものとする。</p> <p>第4条 受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と第3条第3項及び第4項に基づき締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。 2 受注者は、工事検査時に manifests 原本を提示する。 第5条 濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。 2 受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合には、事前に監督員と協議するものとする。 3 この特記仕様書に疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。</p>																																																																																
<p style="text-align: center;">株式会社 内藤建築事務所</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 30%; text-align: center;"> <p>東京都中央区八丁堀3-12-8 一級建築士 小倉 謙二 第272507 一級建築士事務所 東京都知事登録 第0519号</p> </td> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 10%; text-align: right;"> <p>2022.4</p> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> <p>地方独立行政法人埼玉県立病院機構</p> </td> <td style="text-align: center;"> <p>地方独立行政法人埼玉県立病院機構</p> </td> <td style="text-align: center;"> <p>22 循環器・呼吸器病センター新館棟リハビリ訓練室移転改修工事</p> </td> <td style="text-align: center;"> <p>特MP-002</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: center;"> <p>図名 特記仕様書(2)</p> </td> <td style="text-align: center;"> <p>種別 A1:N.S A3:N.S</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: center;"> <p>図面</p> </td> <td style="text-align: center;"> <p>設計日</p> </td> </tr> </table>					<p>東京都中央区八丁堀3-12-8 一級建築士 小倉 謙二 第272507 一級建築士事務所 東京都知事登録 第0519号</p>		<p>2022.4</p>	<p>地方独立行政法人埼玉県立病院機構</p>	<p>地方独立行政法人埼玉県立病院機構</p>	<p>22 循環器・呼吸器病センター新館棟リハビリ訓練室移転改修工事</p>	<p>特MP-002</p>			<p>図名 特記仕様書(2)</p>	<p>種別 A1:N.S A3:N.S</p>			<p>図面</p>	<p>設計日</p>																																																													
	<p>東京都中央区八丁堀3-12-8 一級建築士 小倉 謙二 第272507 一級建築士事務所 東京都知事登録 第0519号</p>		<p>2022.4</p>																																																																													
<p>地方独立行政法人埼玉県立病院機構</p>	<p>地方独立行政法人埼玉県立病院機構</p>	<p>22 循環器・呼吸器病センター新館棟リハビリ訓練室移転改修工事</p>	<p>特MP-002</p>																																																																													
		<p>図名 特記仕様書(2)</p>	<p>種別 A1:N.S A3:N.S</p>																																																																													
		<p>図面</p>	<p>設計日</p>																																																																													

工事区分表

- 印の付いたものを適用する。
- が重複する項目は、それぞれの区分が必要とする工事を自ら行う。

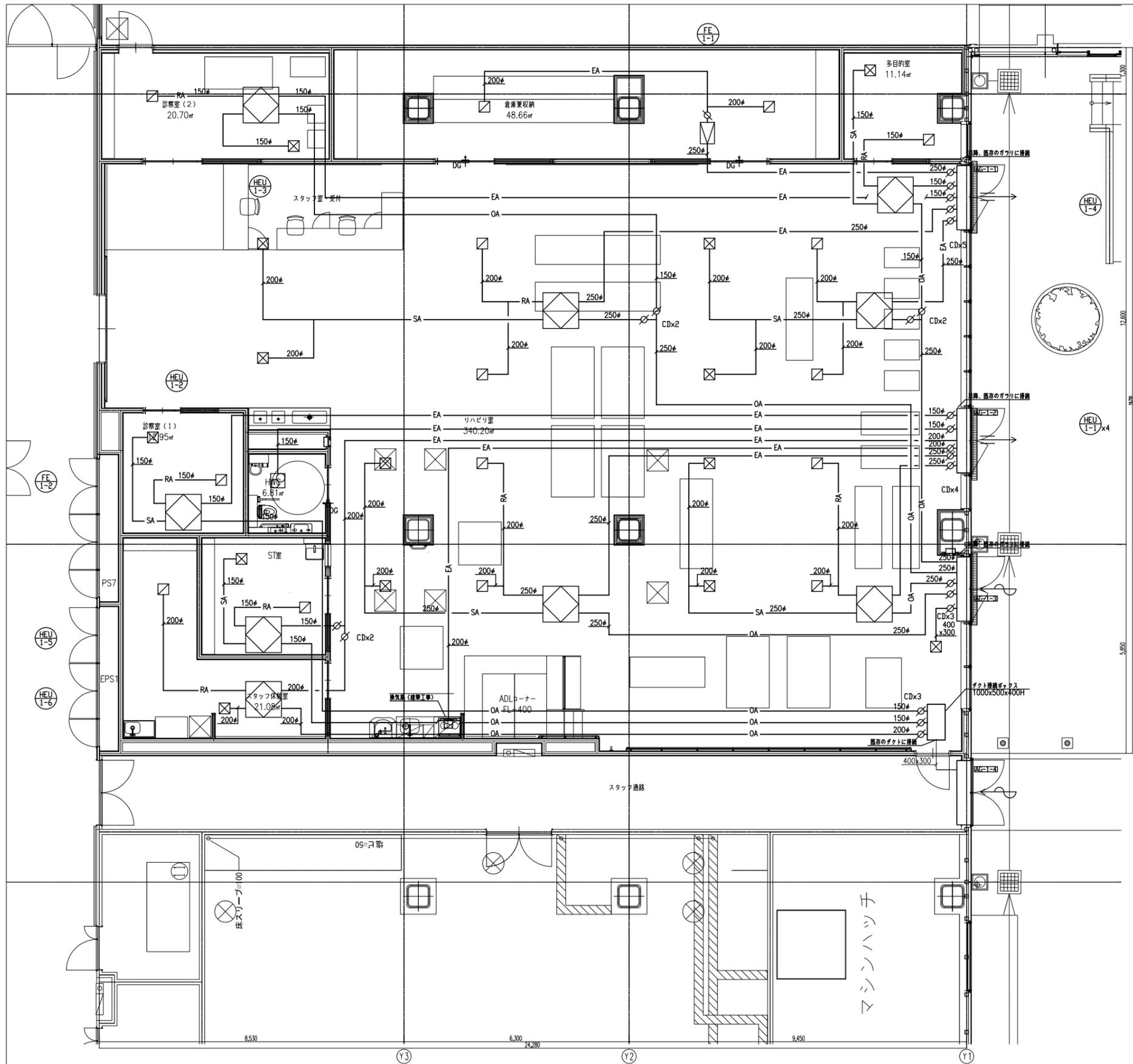
区 分		建	電	機	土	備 考
項 目	名 称	築	気	械	木	
コンクリート穴あけ	梁、壁木製型枠入	●				
"	壁スリーブ入れ	●	●			
"	床スラブ木製型枠入	●				
"	床スラプスリーブ入れ	●	●			
同上開口部補強	鉄筋切断及び補強筋入れ	●				
配管ダクト類の防水貫通部補修		●				
ALCパネルの穴あけ、補修	ダクト等の貫通部	●				
PC版の穴あけ	スリーブ入れ	●				
同上補修		●	●			
インサート	PC版	●				
インサート	コンクリート床	●	●			
天井点検口	点検口取付及び、開口部補強	●				
軽量鉄骨下地開口部露出し	電気設備関係開口部	●				
"	機械設備関係開口部	●	●			
軽量鉄骨下地開口部補強	天井及び壁、ボード切開	●				
開口補強を必要としないボード等の切開		●	●			
特殊仕上材の天井、壁、床に取付ける器具等の穴あけ加工		●				
壁等重量物の下地補強	露出形器具取付用	●				
床点検口	点検口取付及び、開口部補強	●				
防火区画貫通部補修		●	●			
機器・配管取付後の壁、床等の補修		●				
流し台、ミニキッチン	ステンレス製（含む排水金具）	●				
本体、水切		●				
同上用配管接続	給排水用	●				
流し台	陶器製	●				
洗面器等取付化粧板		●				
洗面化粧台	取付け・配管接続	●		●		
多機能トイレバック	取付け・配管接続	●		●		
手摺	リハビリ用	●				
ルーフドレン		●				
堅樋	防露工事共	●				
雨水排水管	第1樹から排水幹線までの配管	●				
"	幹線の配管	●				
生活排水、実験排水管	建物及び第1樹までの配管	●				
"	第1樹から排水幹線までの配管	●				
"	幹線の配管	●				
大型機械基礎		●				
同上基礎上鉄骨架台		●				
機器用アンカーボルト	ボイラ等機械設備関係機器	●		●		
"	自家発電機等電気設備関係機器	●		●		
一般機器類の基礎	仕上げ共	●				
屋外自立盤の基礎	仕上げ共	●				
屋外貯油槽	地下式	●			●	
共同溝	歩床コンクリート	●				
建物、共同溝接続トレンチ		●				
同上接続部止水板		●				
各種槽類	コンクリート製	●				
"	SUS、FRP、鋼製	●		●		
"	屋外大型のもの基礎	●				
"	屋上設置のもの基礎	●				
換気扇取付	ダクトのあるもの	●				
"	壁、サッシ等への取付（材共）	●				
同上用スイッチ		●				
同上用電源配線		●				
同上用枠、取付板等	木製、アルミ製、鉄製	●				
全熱交換器		●		●		
同上用スイッチ		●				
外壁取付ガラリ	給排気用	●				
内壁取付ガラリ		●				
ガラリへの給排気		●		●		
ダクト接続		●		●		
煙感知器連動防火戸		●				
同上用レリーズ	配管配線、ボックス共	●				
同上用煙感知器	リレー及びリレーまでの配管配線共	●				
排煙防火ダンパー	リレー取付まで①	●		●		
煙感知器連動シャッター	リレー取付まで②	●				
煙感知器連動防煙垂れ壁	リレー取付まで③	●				
上記①～③用煙感知器	リレーまでの配管配線共	●				

区 分		建	電	機	土	備 考
項 目	名 称	築	気	械	木	
道路側溝用排水	L型・U型と管敷設	●				
制御盤	制御盤以降の配管、配線共	●	●			空調用制御盤は機械
同上用電源配線	1次側接続まで	●				
屋内消火栓	消火ポンプ、制御盤	●		●		
屋内消火栓起動リレー		●				
同上表示灯及び起動装置		●				
自動火災報知器		●				
連結送水口	座板共	●				
独立煙突		●				
同上煙道	鋼板製	●				
同上雷保護設備		●				
配管配線用ビット		●				
盤、配管、ダクト、配線用の二重床開口	フリーアクセスフロア等	●				
コンクリートシャフト		●				
点検口		●				
天井フック		●				
機械室、電気室の防音遮音処理		●				
特殊サイズ鏡		●				
化粧用洗面器、鏡	化粧カウンターは除く	●		●		
雷保護設備		●				
保守管理用タラップ、はしご		●				
室内テレビ用吊金物		●				
テレビアンテナ	取付共	●				
同上用基礎		●				
グリストラップ及びガソリントラップ	コンクリート製 ステンレス鋼板製	●				
電動シャッターの配管配線	二次側。操作盤、押釦取付共	●				
同上用電源配線	一次側接続まで	●				
自動扉の配管配線	二次側	●				
同上用電源配線	一次側接続まで	●		●		
電気錠操作盤	読取装置共	●				
同上配管配線		●				
電気錠	配管配線、接続ボックスまで	●				
同上配管配線	操作盤～接続ボックスまで	●				
中央監視装置本体	関係機器、関係機器間配線を含む	●		●		
同上用電源配線	一次側接続まで	●		●		
同上用信号線	各メーターから装置まで	●		●		
ユニットバス本体	据付共	●				
同上用電源配線	一次側接続まで。SWの取付配線共	●				
同上用配管	接続まで	●				
冷蔵、冷凍、恒温恒湿、シールド、防音、無音室等の内装	現場製作	●				
同上用電源配線	一次側接続まで	●				
同上用照明・コンセント	電源配管配線、接続ボックス共	●				
同上用配管	接続まで	●				
冷蔵、冷凍、恒温恒湿、シールド、防音、無音室等の内装	プレハブ型	●				
同上用電源配線	一次側接続まで	●				
同上用照明・コンセント	電源配管配線、接続ボックス共	●				
同上用配管	接続まで	●				
芝生、種子吹付け		●				
法枠、モルタル吹付け		●				
コンクリート擁壁		●				
植栽		●				

区 分		建	電	機	エレベーター	備 考
項 目	名 称	築	気	械		
昇降機関連	昇降機設備本体					
	同上用機械室					
	同上用監視盤					
	同上換気扇取付					
	機械室換気扇取付	サーモ、スイッチ共				
	各種信号用制御線	停電用、火災用等				
	三方往周囲の壁仕上					
	各階出入口用開口	敷居取付持出し共				
	昇降路内中間ビーム設置					
	ビット内防水					
	動力、照明要電源、接地引き込み					
	コンセント設置	ビット内、機械室内				
	インターホン配線	シャフト外、監視盤～制御盤 シャフト内、制御盤内接続共				
	非常放送用スピーカー					
	同上用配線	シャフト外、AMP～制御盤 シャフト内、制御盤内接続共				
監視カメラ						
同上用配線	シャフト外、監視制御装置～制御盤 シャフト内、制御盤内接続共					
点検用タラップ	ビット内					

区 分		建	電	機	エスケーター	備 考
項 目	名 称	築	気	械		
エスケーター設備	搬入口、据え付け用穴明け、同復旧					
	フレーム受け用枠					
	吊込穴、フック、復旧工事					
	転落防止柵、網、仕切り板					
	三角ガード					
	天井目地、床、回り仕上げ					
	スプリンクラー等					
	防火シャッター					
	床部照明工事					
	下部機械室耐火構造及び防水工事					
	機械室受電盤までの動力線、電灯線、接地線の配管配線					
	点検用電源の機械室までの引き込み配管配線					
	シャッター及びエスケーター電気インターロック用接点の供給及び配管配線工事（必要な場合）					
	監視盤との信号用配管配線工事					

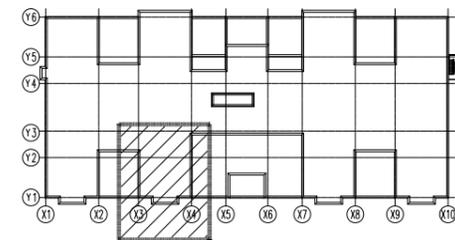
区 分		建	電	機	クレーン	備 考
項 目	名 称	築	気	械		
クレーン設備	走行レール、ストッパー					
	クレーン点検台及びはしご					
	走行用給電装置					
	電気工事（電源盤以降2次側）					



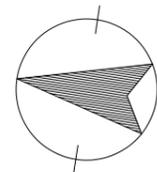
ガラリチャンバリスト

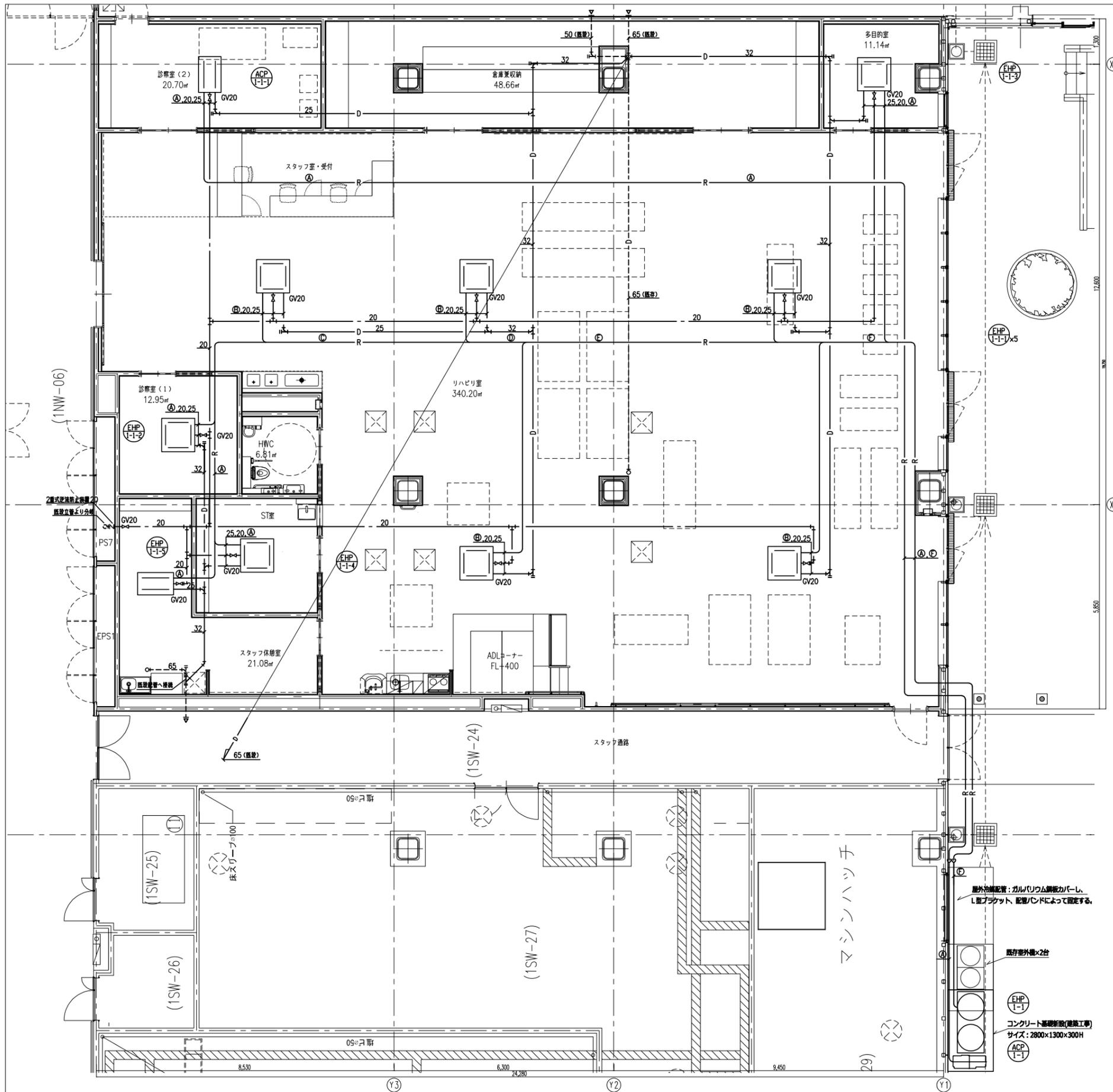
記号	種類	風量 (CMH)	個数	有効面積 (m ²)	実面積 (m ²)	板厚	ガラリチャンバー	備考
AG-1-1	EA	1,760	1	0.163	0.466		1,800 x 700 x 450 H	既存
AG-1-2	EA	1,690	1	0.157	0.449		1,800 x 700 x 450 H	既存
AG-1-3	OA	2,860	1	0.265	0.757		1,800 x 700 x 450 H	既存
AG-1-4	OA	680	1	0.063	0.180		1,800 x 700 x 450 H	既存

給気ガラリ 開口率: 0.35 面風速: 3 m/s
 排気ガラリ 開口率: 0.35 面風速: 3 m/s



キープラン

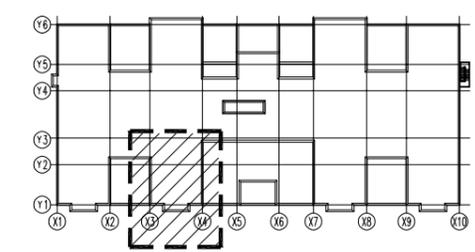




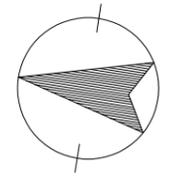
冷媒管リスト

記号	液管	ガス管	備考
Ⓐ	6.4φ	12.7φ	
Ⓑ	9.5φ	15.9φ	
Ⓒ	9.5φ	19.1φ	
Ⓓ	9.5φ	22.2φ	
Ⓔ	12.7φ	28.6φ	
Ⓕ	15.9φ	28.6φ	

注) 1.冷媒管サイズは参考とする。
 2.内外機並り配線は冷媒管共巻とする。
 (EM-CEES 1.25mm²-2C)



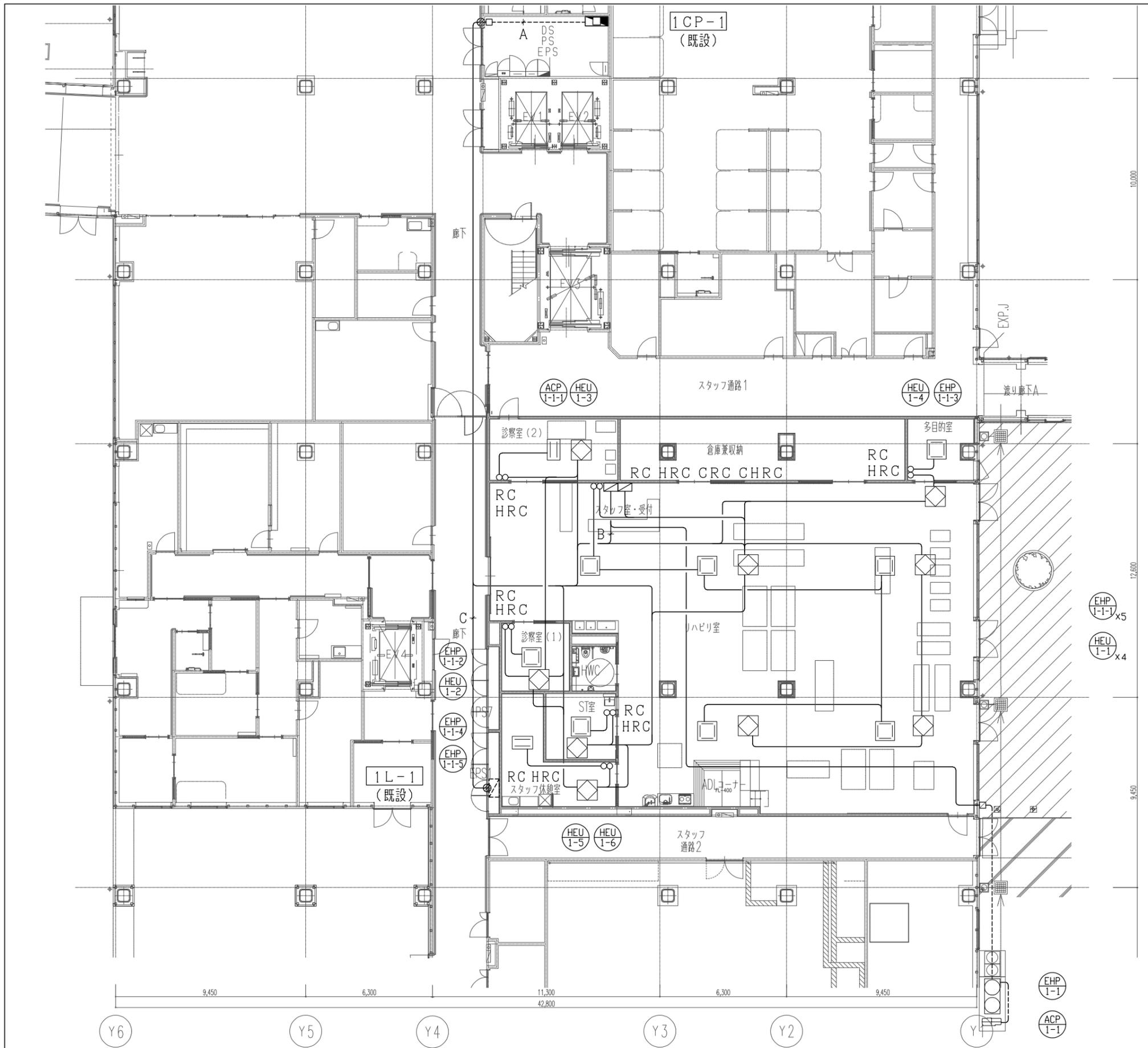
キープラン



屋外機配管：ガルバリウム鋼板カバー、
 L型プラットフォーム、配管バンドによって固定する。

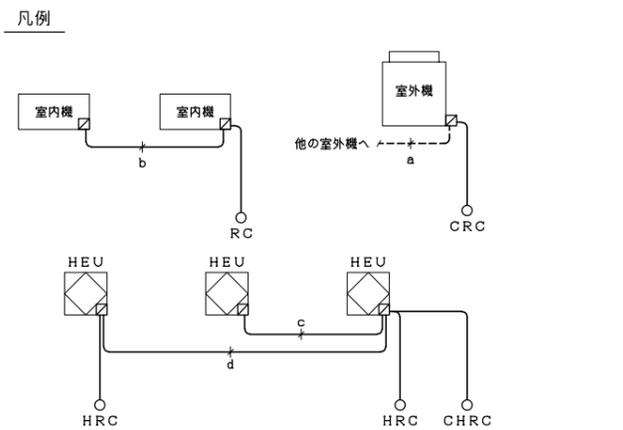
既存屋外機×2台

Ⓔ EHP
 1-1-1
 コンクリート基礎新設(建築工事)
 サイズ：2800×1300×300H
 Ⓕ ACP
 1-1-1

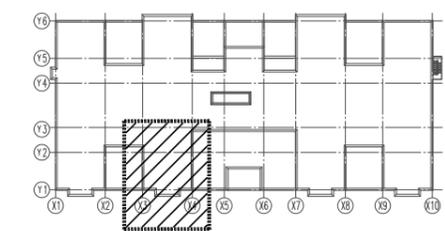


凡例

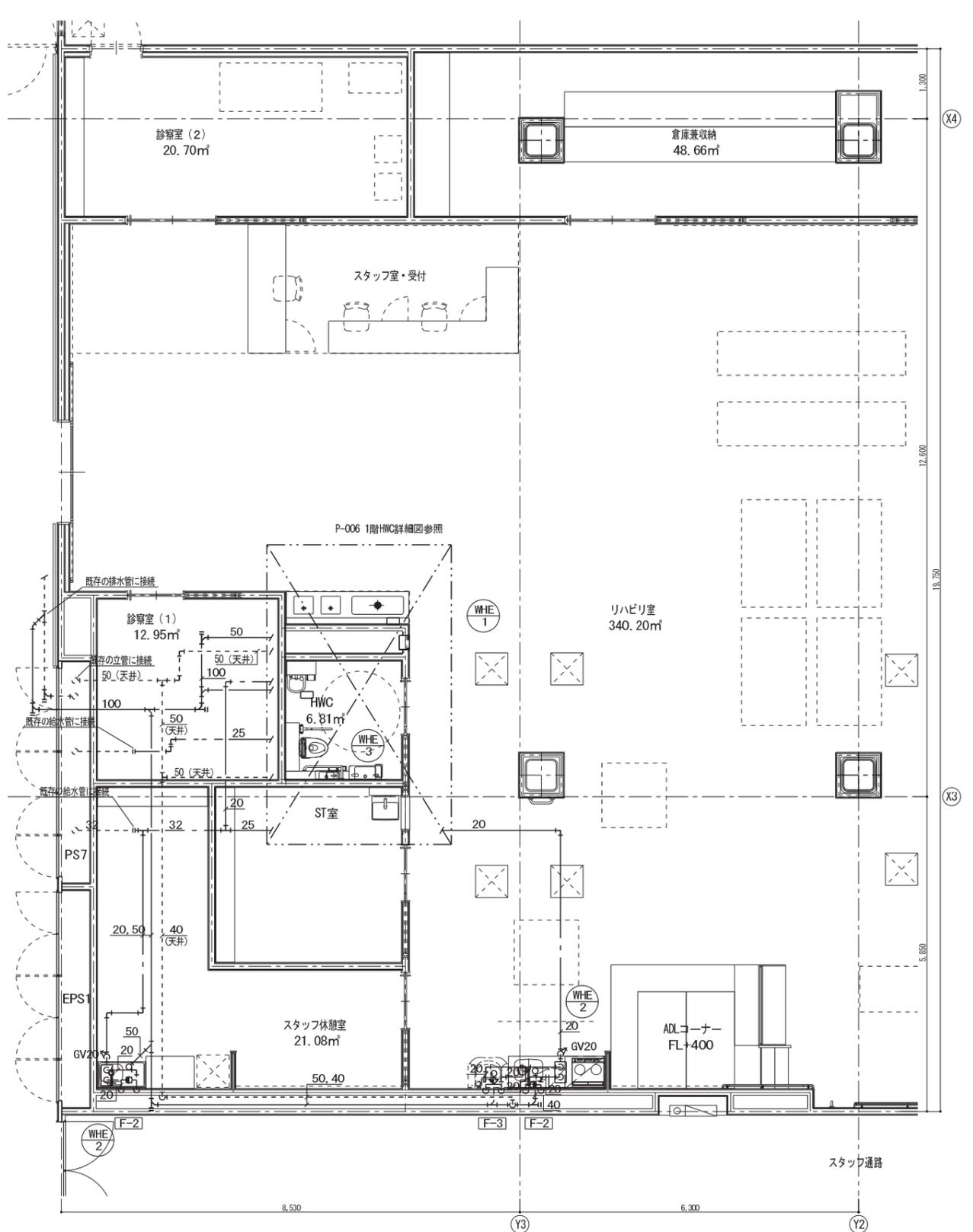
シンボル	記号	配線	配管	管内外	備考
○	RC	EM-CEES1, 250-2C	(PF22)	屋内	天井内コロガシ
○	HRC	EM-CEES1, 250-2C	(PF22)	屋内	天井内コロガシ
◻	CRC	EM-CEES1, 250-2C	(PF22)	屋内	天井内コロガシ
◻	CHRC	EM-CEES1, 250-2C	(PF22)	屋内	天井内コロガシ



- a- EM-CEES1, 250-2C (22) パッケージ集中リモコン渡り線
 - b- EM-CEES1, 250-2C (コロガシ) 室内機連動線
 - c- EM-CEES1, 250-2C (コロガシ) HEU連動線
 - d- EM-CEES1, 250-2C (コロガシ) HEU集中リモコン渡り線
-
- A- LANケーブル (E51) CRC通信線 個別監視線X7
 - EM-FCPEE0, 9-3PX7
 - B- LANケーブル (コロガシ) CRC通信線
 - C- EM-FCPEE0, 9-3P (コロガシ) 1L-1 個別監視線



【注記】
 ◎部分は、壁貫通処理箇所を示す。

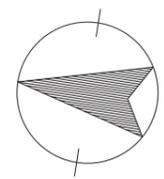
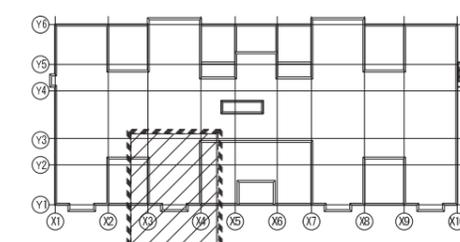


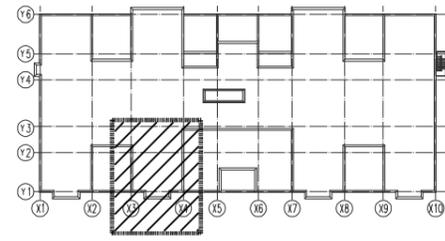
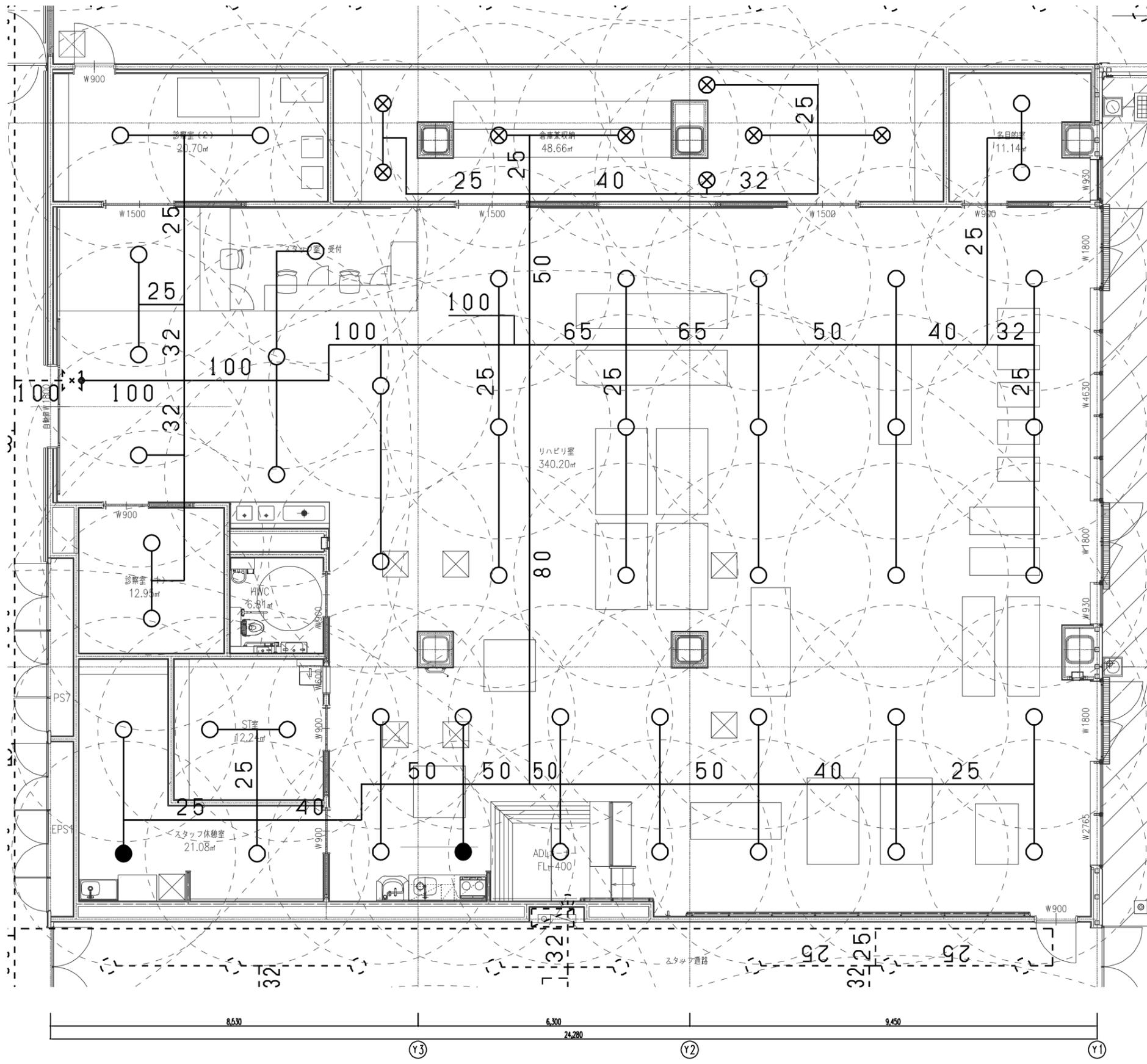
衛生機器表

記号	名称	台数	仕様	動力		起動	設置場所	備考
				kW	φ			
WHE-1	電気温水器	1	形式 : 貯湯式電気温水器 手洗い用 (台下置形) 貯湯量 : 20 L 付属品 : 週間タイマー、空焚き防止機能、減圧弁、過し弁、過昇温防止機能、消電ブレーカー、膨張水排出装置、自動給排水機能	2.0	1	200	LS	階 リハビリ室
WHE-2	電気温水器	2	形式 : 貯湯式電気温水器 手洗い用 (台下置形) 貯湯量 : 12 L 付属品 : 週間タイマー、空焚き防止機能、減圧弁、過し弁、過昇温防止機能、消電ブレーカー、膨張水排出装置、自動給排水機能	1.5	1	200	LS	階 リハビリ室 階 スタッフ休憩室
WHE-3	電気温水器	1	形式 : 貯湯式電気温水器 手洗い用 (台下置形) 貯湯量 : 3 L 付属品 : 週間タイマー、空焚き防止機能、減圧弁、過し弁、過昇温防止機能、消電ブレーカー、膨張水排出装置、自動給排水機能	0.6	1	100	LS	1階 HWC (手洗器)

衛生器具表

器具NO	器具名称	器具仕様	参考型番 (TOTO)	参考型番 (LIXIL)	小計	1階			
						リハビリ室	HWC	ST室	スタッフ休憩室
F-1	自動水栓	自動水栓 (水のみ) 連続吐水スイッチ付	TEN47A	NI-301V1	1			1	
F-2	手動水栓	手動水栓 (水・湯)	TKS0303J	JF-AB46SYXA(LN)	2	1			1
F-3	OT化粧台	OT化粧台 (昇降機能付) 自動水栓 1面鏡	LDSML090SSGM1G LMSL090S1GGG1G	該当なし	1	1			
F-4	自動水栓	自動水栓 (水・湯) 連続吐水スイッチ付 AC100V	TEN67G1	NI-311TV1	3	3			
C-1	多機能トイレバック	自動水栓 AC100V 0.6W 便器洗浄ユニット AC100V 30W 電気温水器 (洗面器) AC100V 505W 温水洗浄便座	LDXK01L2A1AND1WA	FTW-G2103L2A1ANNW、CF-11B	1	1			
C-2	コンパクトオストメイトバック	オストメイト用シャワー水栓 (水・湯) 電気温水器 (汚物流し) AC100V 600W	UAS2LDE1N#M11、UTR141	FTOM-E210W-C、PTOM-ESGR	1	1			





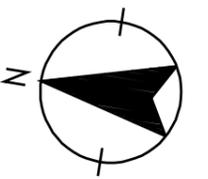
キープラン

凡例

記号	名称
	補助散水栓
	スプリンクラーヘッド 72℃ (1種 r=2, 6)
	スプリンクラーヘッド 98℃ (1種 r=2, 6)
	スプリンクラーヘッド 72℃ (1種 r=2, 6) 保護カバー付
	仕切弁
	スプリンクラー管 (閉鎖)

特記

- ◇ 破線の配管・機器類は既設を示す。
- ◇ 実線の配管・機器類は新設を示す。
- ◇ ○ ● --- 既設配管に接続箇所を示す。
- ◇ 既設配管とのメイン管接続箇所は現場での再確認を必要とする。
- ◇ スプリンクラーヘッドは別途工事とする。



医療ガス設備特記仕様書

1. 設備概要

1-1 酸素供給設備	酸素の供給は、既設採用酸素バルブより延長し、これより図示された各部屋のアウトレットへ配管により供給を行なう。 供給圧力は既設酸素配管と同圧力とする。
1-2 吸引供給設備	吸引の供給は、既設採用吸引バルブから延長し、これより図示された各部屋のアウトレットへ配管により供給を行なう。 供給圧力は既設吸引配管と同圧力とする。
1-3 アウトレット (配管端末器)	1) アウトレットバルブと導入接手はガス別特定とし、定められたガス以外の接続は出来ない構造とする。 2) バルブ本体にはガスの種類により色分けされ、導入接手には個々のメンテナンスのためのストップバルブを備えた構造とする。 3) 酸素・吸引のガス別特定方式はピン方式とする。 4) 壁付アウトレットの取付高さは、手術室はFL+1,500mm、その他はFL+1,400mm(器具芯)を標準とする。
1-4 シャットオフバルブ (区域遮断弁)	1) メインシャットオフバルブは、ガスライン別の主配管に設け、緊急時にガスの送気を遮断出来るものとする。 2) 区域別シャットオフバルブは、各階の系統別に設け、緊急時にガスの送気を遮断出来るものとする。 区域別シャットオフバルブの設置場所は、施設関係者以外の者が容易に操作しにくい場所とする。 3) バルブは、禁油したボールバルブを使用し、区域用のものは取付高さFL+1,500mm(バルブ芯)を標準とする。 4) 各シャットオフバルブは、非常時においてバルブの操作が迅速にガスを遮断でき、外部からバルブの開閉状態が容易に見分けられる構造とする。また、ガス名、識別色及び制御区域を示す文字をカバー表面に表示する。

2. 配管工事

2-1 配管材料

ガス名称	配管仕様	継手仕様	備考
酸素	鋼管リン脱酸銅線目無管 (JIS H 3300 C 1220)のLタイプとする。	左記の鋼管による形成品又は JIS H 3401の加工品とする。	鋼管の異種金属に対する 保護として塩ビ管又は防 蝕テープを使用する。
吸引	ガス別に着色を施された熱収 縮性合成樹脂チューブ被覆鋼 管とする。		支持金具と鋼管が直接接触 しない様、鋼管用金具 を使用する。

2-2 配管の識別表示

配管	酸素	吸引
識別色	緑	黒

2-3 配管の支持間隔

呼径20mm 未満 1.5m 呼径20mm以上、50mm以下 2.0m 呼径65mm以上3.0m 曲部及び分岐箇所は、0.5m以内とする。
1) 共用架台で支持及び固定する場合の部材は、50mm以下の場合形鋼L-30×30×3t、50mmを超える場合は形鋼L-65×65×6tとする。
2) 最大振れ止め支持間隔は、65mm以上から6mとし、50mm以下及び吊棒長さが300mm未満の場合、配管の振れ止め支持は不要とする。

2-4 配管の施工

- 壁取付け器具への立ち下げ配管は、酸素・吸引はφ10とする。
- 壁埋込み配管の保護は軽量鉄骨壁内では防食テープ又はPF管で防食保護する。保護する範囲は、壁内の全長+50mm以上とする。躯体壁内はPF管で防食保護する。
- カラーパイプを溶接接合するために被覆を削り取る部分の長さは、500mm以内とする。
なお、接合後は、露出部分は指定色の塗装を行い、隠れ部分の500mm以上被覆を削り取った部分は識別テープでもよい。
- 配管の溶接作業は、酸化防止措置として配管内に不活性ガス(窒素ガス)を通しながら行なう事。
- 既存配管の切り込みは、最初に小さな切り込みを入れて圧力が完全に抜けていて誤切のないことを確認した後に進行。
- 配管設備を増設する場合は、既存配管に接続するまでに、接続部の気密試験を除去すべての試験を実施した後に接続する。

2-5 検査・試験

ガス名称	試験用ガス	配管気密試験		試験用ガス	総合気密試験	
		試験圧力	保持時間		試験圧力	保持時間
酸素	窒素又は	1.0MPa	24 時間	窒素又は	0.4MPa	24 時間
吸引	清浄空気	0.5MPa	2 時間	清浄空気	0.1MPa	2 時間

- 配管工事終了後、系統試験を行ない、配管に異常の無い事を確認の上配管気密試験を行なう事。
- 排気管を除く鋼配管は、配管気密試験完了後、器具取付け前に清浄空気又は窒素ガスを放出して管内の清掃を行い、異物、ごみ、塵埃等を十分に除去する。
- 総合気密試験は、端末の器具全ての取付終了後に行ない、配管及び器具に異常の無い事を確認の上作動試験を行なう事。
- アウトレット清浄度検査の方法は、酸素・笑気・治療用空気・窒素についてテスト用アダプタプラグにより、60~150 ℓ / minで15秒間、直径50mm細孔10 μm のフィルターにガスを吹き付け、フィルターに目視で確認できる微粒子のないこと。
検査箇所数は各区域別シャットオフバルブの区域ごとに最も配管経路が長いアウトレット1箇所を測定する。
- 既存配管との接合は、1系統ごとに行い、施工後ガス別の系統確認を行う。
- 既存配管へ接続後及び気密試験後は、異ガスの混入を防止するために実際使用するガス(以下「実ガス」という。)以外を封入してはならない。
- 接続部の気密試験は、吸引及び麻酔ガス排除を除く配管で標準送気圧力での検知液による発泡漏れ試験とし、吸引配管は種を吸い込ませる吸煙試験とする。

2-6 検査・試験の順序

- (1) 配管外観検査 (2) 配管系統検査 (3) 配管気密試験 (4) 配管内清浄度検査 (5) 器具外観検査
(6) 総合気密試験 (7) 区域別遮断弁作動確認 (8) 作動及び性能検査 (9) 竣工検査
検査・試験は区域ごとに行ってもよいが各検査・試験を合格せず、次の検査・試験を行ってはならない。
検査不合格の場合、手直し後は必要な検査・試験まで戻って実施する。
作動及び性能検査時のガスは実ガスを使用する。

2-7 完工検査

竣工引渡し後、すべての系統の配管設備が試験用ガスから当該施設が使用するべく用意された実ガスに置き換えられ、使用可能な状態となったときで、かつ使用開始前に行う。検査に当たっては、当該施設の医療ガス安全・管理委員会の代表又はそれに準ずる者が立ち会い、臨床使用時の安全性を確認する。この時のポンベ及び置換作業は本工事に含まない。

壁付アウトレット(埋込型)

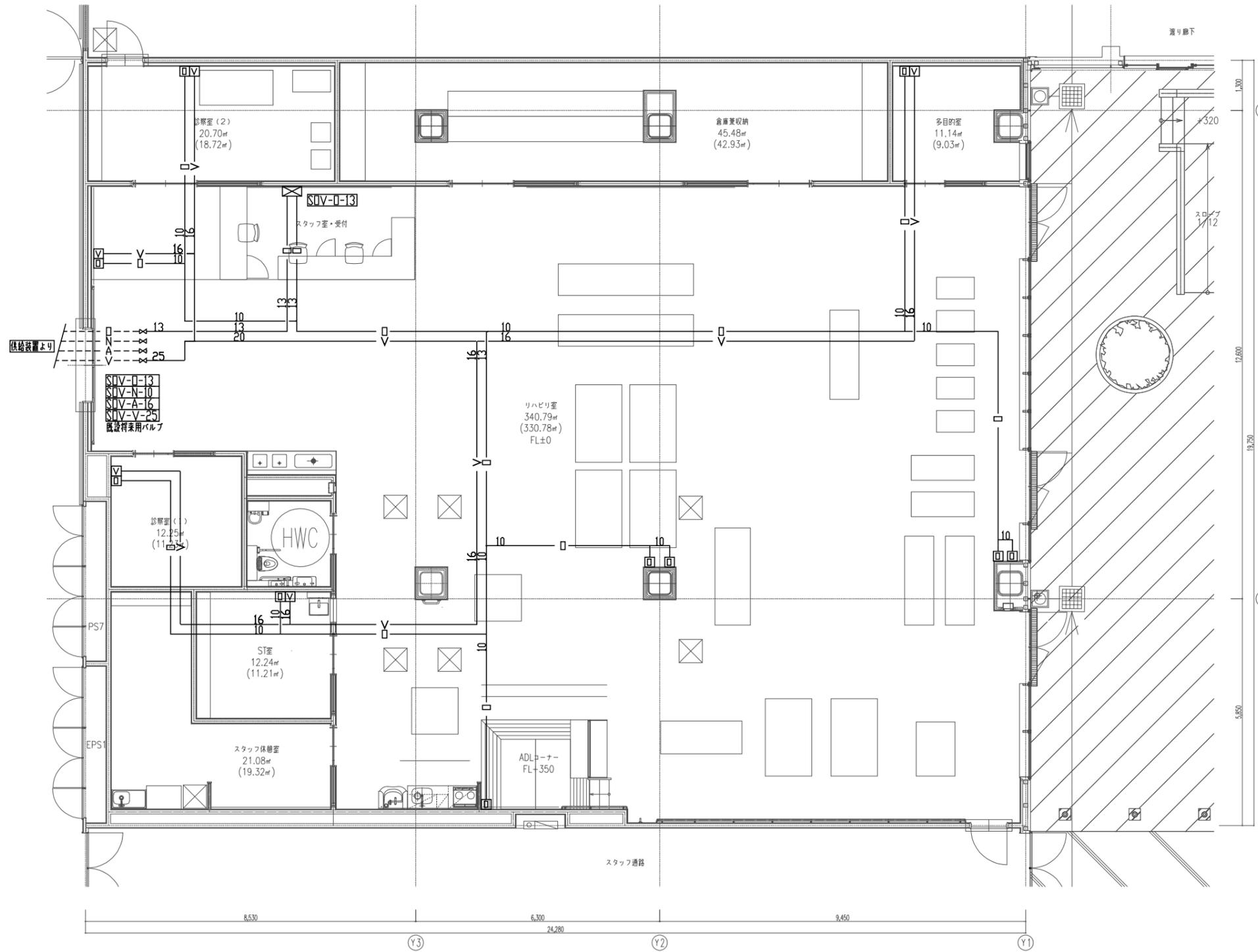
図号	名称
1	バルブ本体
2	ネームプレート
3	スライドベース
4	バルブプレート
5	スライドベースプレート
6	スライドカバー
7	化粧枠
8	スベサーE
9	銅管
10	ボックス
11	新巻ゴム

S=1/5

シャットオフバルブ (埋込型)(区域表示タイプ)

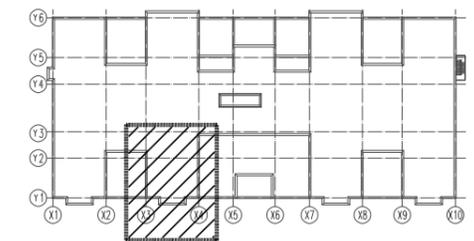
図号	名称
1	ボックス
2	銅管

S=1/5

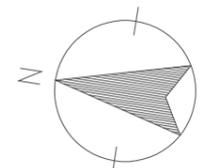


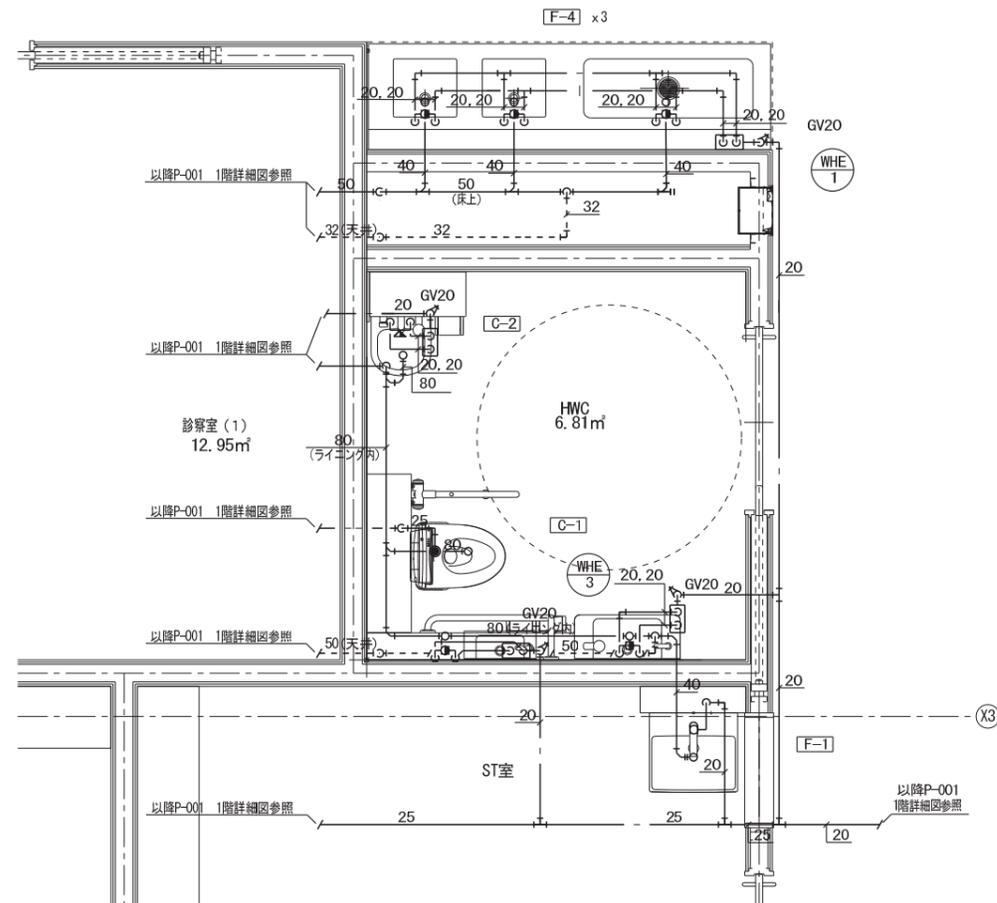
凡例

記号	名称	備考
—□—	酸素配管ライン	(新設)
—V—	吸引配管ライン	(新設)
□	酸素壁付アウトレット	(新設)
▽	吸引壁付アウトレット	(新設)
⊠	シャットオフバルブ	(新設)
---□---	酸素配管ライン	(既設)
---N---	笑気配管ライン	(既設)
---A---	空気配管ライン	(既設)
---V---	吸引配管ライン	(既設)



キープラン





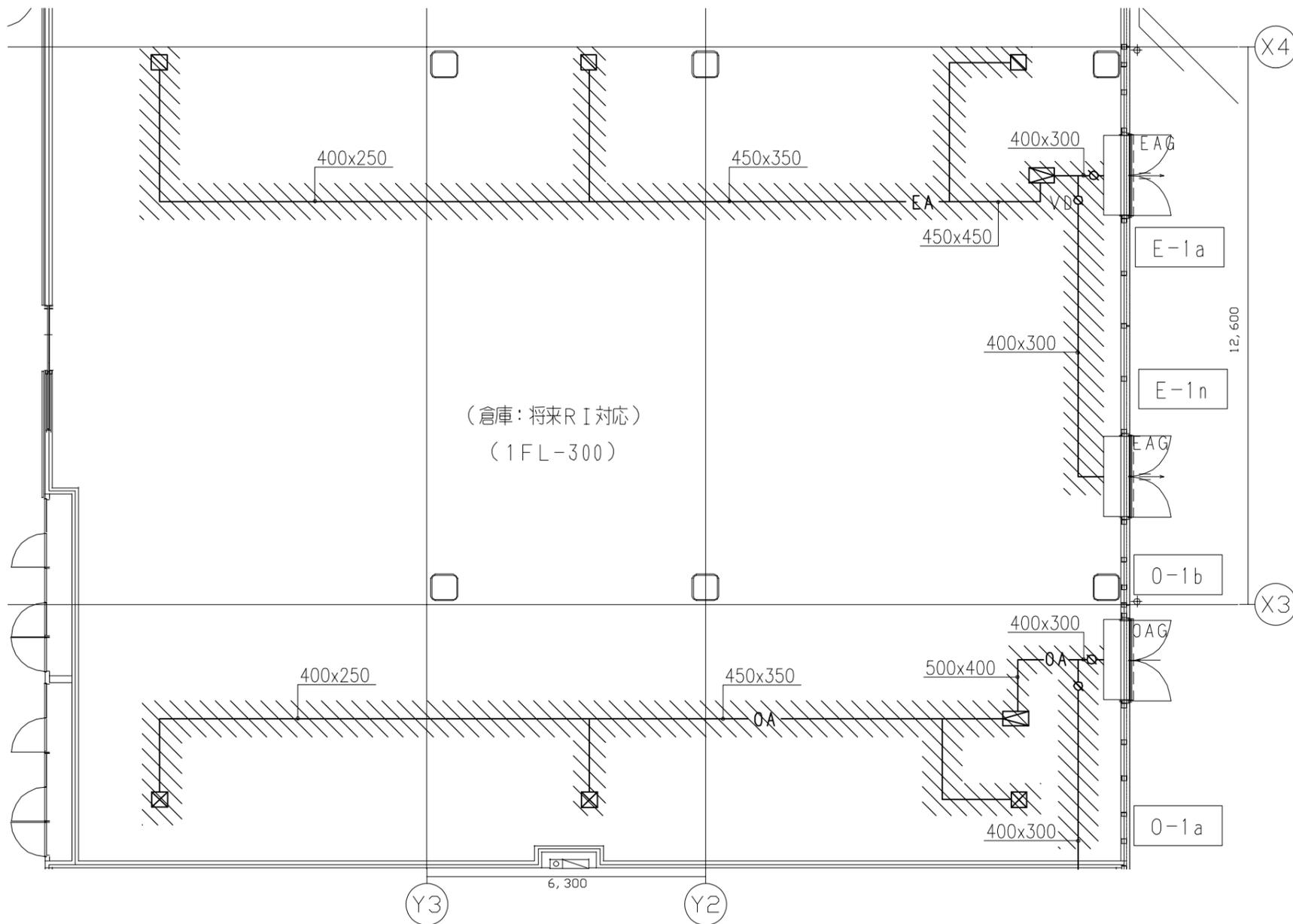
		 株式会社 内藤建築事務所		地方独立行政法人埼玉県立病院機構		図番 P-006
		東京都中央区八丁堀3-12-8 一級建築士 小倉 謙二 第272507 一般建築士事務所 東京都知事登録 第52519号		工事名 22 循環器・呼吸器病センター新館棟リハビリ訓練室移転改修工事		
地方独立行政法人埼玉県立病院機構				図名 給排水衛生設備 1階HWC詳細図		縮尺 A1: 1/20 A3: 1/40
				設計日 2022.04		

送・排風機機器表(撤去)

機器番号	換気機器			台数	能力						電源			付属品(他標準品)				中央監視	設置又は据付	設置場所		備考	
	機器名	系統名			型式	番手	口径	風量	静圧	交換効率	その他	相	電圧	kW	24時間	リモコン	フィルター			ベンチレーター	階		名称
		階	名称																				
FE-1-6	排気ファン	1	倉庫	片吸込シロッコファン	1	2	4,500	160	-		3	200	2.2					○	天吊露出1倉庫		ラトル機 CLF6-NO.2-RS-KI-e		
FS-1-6	給気ファン	1	倉庫	片吸込シロッコファン	1	2	4,500	170	-		3	200	2.2					○	天吊露出1倉庫		ラトル機 CLF6-NO.2-RS-KI-e		

制気口リスト(撤去)

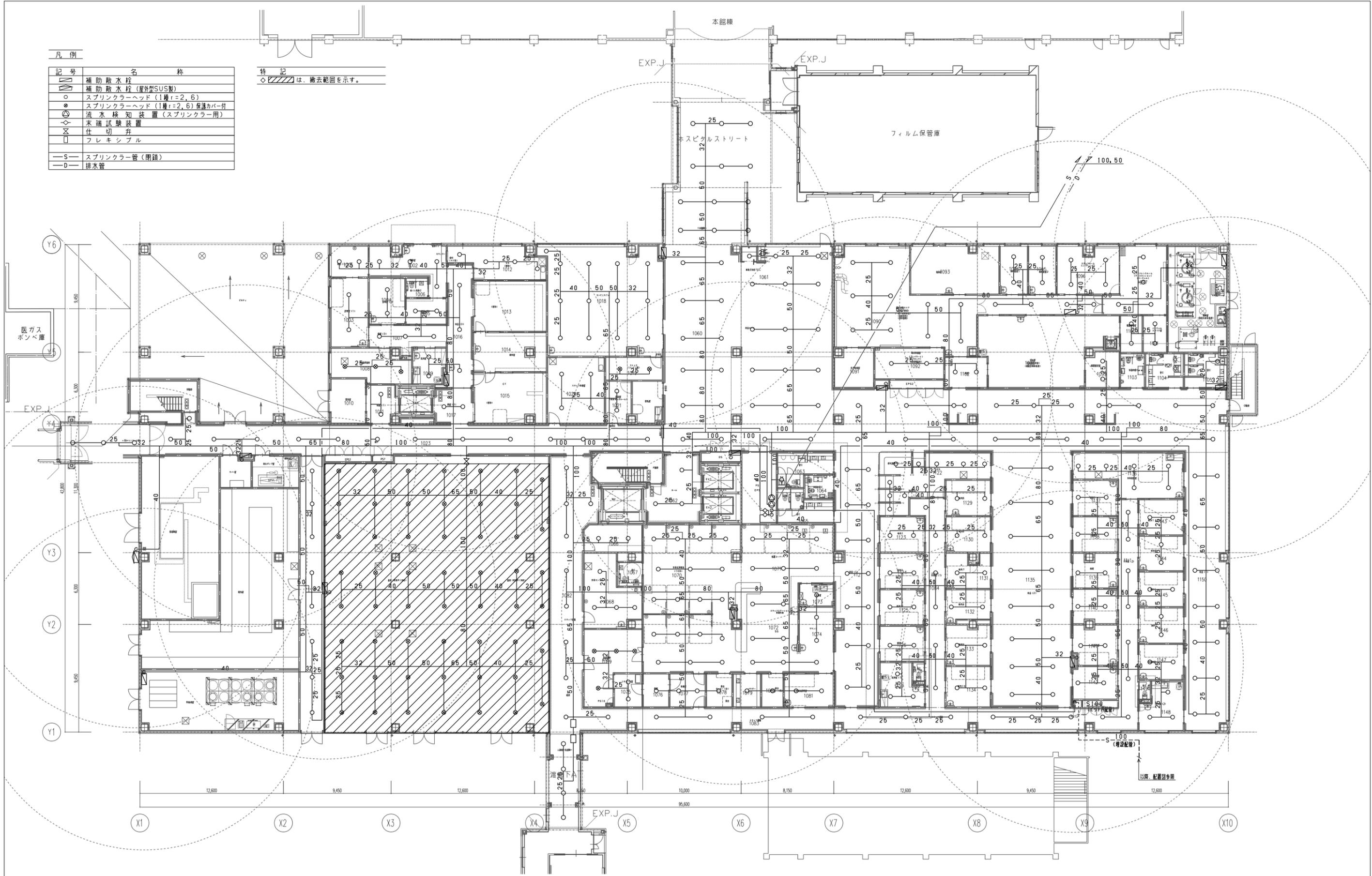
階	室名	系統	形式	材質		寸法			種別				吹出口	吸込口	総風量	1層当たり風量	個数	制気口ボックス			内貼	備考
				標準	SUS	塩ビ	L	x	W	空調	換気	バス						SA	OA	RA		
1F	【1階 廊下(西側)系統】																					
	1SW-23 倉庫(将来RI対応)	FS-1-6	VHS			550	x	550	○				○		4,500	1,500	3	650	650	300	○	-
	1SW-23 倉庫(将来RI対応)	FE-1-6	GVS			550	x	550	○				○	4,500	1,500	3	650	650	300	○	-	



注記
 - - - は、撤去範囲を示す。

記号	名称
	補助散水栓
	補助散水栓(屋外型SUS製)
	スプリンクラーヘッド(1階 r=2, 6)
	スプリンクラーヘッド(1階 r=2, 6)保護カバー付
	流水検知装置(スプリンクラー用)
	末端試験装置
	仕切弁
	フレキシブル
	スプリンクラー管(閉鎖)
	排水管

特記
 は、撤去範囲を示す。



地方独立行政法人埼玉県立病院機構 22 循環器・呼吸器病センター新館棟リハビリ訓練室移転改修工事 消火設備 1階平面図(撤去)		株式会社 内藤建築事務所 東京都中央区八丁堀3-12-8 一級建築士 小宮 謙二 第272507 一級建築士事務所 東京都中央区 第32519号		図番 PK-001
		縮尺 A1:1/150 A3:1/300		